

《平成23年度 大阪市生涯学習インストラクターバンク》登録応募用紙

※全部で①～④ページです。

部門(どちらかを○で囲む)	生涯学習インストラクター	・	高齢者リーダー
ふりがな		性別	生年月日
氏名			年 月 日 生まれ 満 歳 (平成22年4月1日現在)
住所	〒 —	電話	
		携帯電話	
		FAX	
勤務先 ※市外在住で市内在勤の方、昼間の連絡先として必要な方はご記入ください	名称(部署)	電話	
	所在地	FAX	
登録を希望するジャンル・科目(1科目のみ)	※ジャンル・科目名は、登録決定の際に、既に登録のあるジャンル・科目名に合わせていただくことがあります。		
指導できる具体的な内容(できるだけ詳しく) ※③ページの企画案もご記入ください	※作品がある方は、写真等を添付してください。(送付していただいた写真はお返しできません。)		
指導内容についての知識・技術を習得するために、あなたが学んだ教育機関・団体があれば、その名称・内容・期間もしくは経歴	教育機関・団体名	内 容	期間もしくは経歴 だいたいの回数・時間
	・	・	年 月～年 月 約 回・1回約 分
	・	・	年 月～年 月 約 回・1回約 分
	・	・	年 月～年 月 約 回・1回約 分
講師としての公的資格がある場合、資格の名称と資格を授与された機関・団体名と取得年月 また、明確な資格のない方は講師資格に相当するもの	公的資格の名称 (または資格に相当するもの)	資格を授与された機関・団体名	資格取得年月
	・	・	年 月
	・	・	年 月
	・	・	年 月

■応募用紙の入手先に○をつけてください。(審査とは関係ありません)

- ・ 総合生涯学習センター ・ 弁天町市民学習センター ・ 阿倍野市民学習センター ・ 難波市民学習センター
- ・ 城北市民学習センター ・ 大阪市役所教育委員会 ・ いちようネット(インターネット)

※個人情報の取り扱いについて:

応募用紙にて取得した個人情報は、大阪市生涯学習インストラクターバンクの運営に必要な場合にのみ利用し、必要がなくなった時点で速やかに破棄します。

■応募される指導科目をこれまで指導した経験があれば、その指導歴《生涯学習インストラクターは必須項目》
 ※主なものについてのみ場所、内容、回数、対象などをできるだけ異なるものをお書きください。

活動場所または主催団体・機関名 (自宅、〇〇教室、〇〇生涯学習ルーム、〇〇カルチャースクールなど)	内容 (〇〇づくり、〇〇体験教室、〇〇会話、〇〇についての講演会、〇〇教室でのアシスタントなど)	期 間	期間中の回数 (おおよそで結構です)	対象または参加者層(子ども・高齢者・初心者・制限なしなど)	1回あたりの人数 (おおよそで結構です)
・	・	・ 年 月～ 年 月	・	・	・
・	・	・ 年 月～ 年 月	・	・	・
・	・	・ 年 月～ 年 月	・	・	・
・	・	・ 年 月～ 年 月	・	・	・

■応募の動機と、インストラクターバンクに登録するにあたっての期待・抱負など

■ボランティア活動への意欲

■明確な資格のないジャンル・科目に応募される方で、知識・技術を習得された教育機関・団体またはあなたの指導者などからの推薦を受けることができる場合は、推薦を受けてください。

推 薦 書

推薦者氏名	<div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 印 </div>
推薦者住所	電話
推薦者の所属団体と役職名	
推薦の理由	

★裏面(企画案)もご記入ください。

《企画案について》

「例えば、こんな講座ができます！」という具体案を書いてください。企画案を読めば、誰でも講座の中身がわかるように、また、実施する方法や用意するものなど運営側にとっても準備しやすいように設定してください。また、企画案を読んで、「この講座に参加したい、グループで実施したい」と思われるような、楽しく学べそうな文章表現を工夫してください。

企画案

※④ページに記入の注意事項がありますので、よくお読みください。

講座名 (タイトル・テーマ)	
講座の趣旨・ねらい	
回数と1回あたりの時間	回(1回あたり 分程度)
対 象	
定 員	名程度
内 容	
講座プログラム	第 回～ 回(内容・手法)
	第 回～ 回(内容・手法)
	第 回～ 回(内容・手法)
	第 回～ 回(内容・手法)
	第 回～ 回(内容・手法)
	第 回～ 回(内容・手法)
教 材 (ひとりひとりに用意するもの)	
教 材 費 (おおよその実費・うちわけ)	
会場の条件・必要な設備	(会場の条件)
(会場の広さ・仕様・使用する機材など)	(講師が 用意するもの)
	(主催者が 用意するもの)

企画案についての留意事項

講座名 (タイトル・テーマ)	設定する講座の内容がわかり、参加者の興味をひくような、簡潔なタイトルを記入してください。				
講座の趣旨・ねらい	講座を通して参加者が何をどのように学ぶか、また課題をどのように解決するか、どのような視点で講座を進めるかといった趣旨と、参加者がこの講座の学びを通して何をどの程度まで身につけるかといった目標やねらいを記入してください。				
回数と1回あたりの時間	設定する回数と、1回ごとの時間数を設定してください。				
対 象	参加対象を設定してください。 ○歳～△歳代、子ども、高齢者、○○の活動をしているグループなど				
定 員	上記の対象者で、1回あたりの指導できる人数を設定してください。				
内 容	講座の内容を簡潔に書いてください。また、どのような手法(講義、実技、実習、鑑賞など)で参加者が何を行うかなどもわかるように記入してください。また、講師の指導にあたっての配慮や留意することなどもあれば記入してください。また、講座が複数回になる場合は、下記のプログラムに各回ごとのテーマ・内容を記入してください。				
講座プログラム	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px dashed black;">第 回～ 回 (内容・手法)</td> <td rowspan="3" style="width: 50%; vertical-align: middle; text-align: center;">第何回～第何回にかけて、 どういった内容をどの程度まで 実施するのかを書いてください。</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">第 回～ 回 (内容・手法)</td> </tr> <tr> <td>第 回～ 回 (内容・手法)</td> </tr> </table>	第 回～ 回 (内容・手法)	第何回～第何回にかけて、 どういった内容をどの程度まで 実施するのかを書いてください。	第 回～ 回 (内容・手法)	第 回～ 回 (内容・手法)
第 回～ 回 (内容・手法)	第何回～第何回にかけて、 どういった内容をどの程度まで 実施するのかを書いてください。				
第 回～ 回 (内容・手法)					
第 回～ 回 (内容・手法)					
教 材 (ひとりひとりに用意するもの)	必要な教材をすべて書いてください。講師が用意するものだけでなく、参加者が持参するものもわかるように書いてください。				
教 材 費 (おおよその実費・うちわけ)	上記の「教材」のうち、参加者が負担する教材について、金額の合計と内訳を書いてください。				
会場の条件・必要な設備 (会場の広さ・仕様・使用する機材など)	講座を実施するための会場の条件(部屋の種類や広さなど)、必要な機材(机、いす、黒板、マイク、CDラジカセ、プロジェクターなど)を記入してください。また、機材のうち、講師が用意できるもの、会場または主催者側で用意していただくものとに分けて記入してください。				

■募集チラシの入手先に○を付けてください。

- ・総合生涯学習センター ・市民学習センター(弁天町・阿倍野・難波・城北) ・いちようネット(インターネット)
- ・区役所(区) ・図書館(区) ・その他()

【提出先】 大阪市立総合生涯学習センター 《平成22年7月31日(土)必着》

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-500 大阪駅前第2ビル 5階

大阪市立総合生涯学習センター 生涯学習インストラクターバンク事務局

※応募用紙はお返しいたしません。

※応募用紙は全部で①～④ページです。